

平成31年新春講演会・賀詞交歓会

公益社団法人久慈法人会（会長嵯峨吉彦）と久慈間税会（会長桑畑博）は、平成31年2月1日（金）午後4時30分から久慈グランドホテルで新春講演会、新年賀詞交歓会を開催しました。開会に当たり嵯峨会長が新年挨拶をして講演に入りました。

講師に久慈市出身で作家の平谷美樹氏をお迎えし『幕末の盛岡藩に学ぶこと』と題して1時間30分間ご講演頂きました。

平谷美樹氏は岩手日報の新聞小説『柳は萌ゆる』を1年7か月間連載し、昨年11月に単行本を発売した記念講演です。

幕末の貧困、重税の盛岡藩内の百姓一揆への布石の様子や後に家老となる榎山佐渡を中心に南部藩の財政に取り組んでいく様子を講演頂きました。平谷さんは藩の沿岸部で発生した「三閉伊一揆」は「庶民が侍に勝利した極めて珍しい例」。一揆勢力の要求をのんだ盛岡藩の姿勢について「当時の侍から見れば弱腰だが、見方を変えれば民主主義だったのでは」と述べた。

久慈間税会の桑畑会長が、謝辞と久慈産琥珀の記念品を贈呈しました。

参加者は88名で、先人たちの思いや取り組みを分かり易く話していただき良かったと大変好評でした。

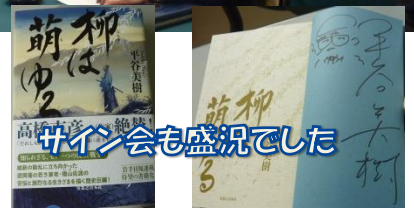
新春賀詞交歓会では『野田村ワイン』で乾杯し、講師ご夫妻を囲んで大いに盛り上がりました。



講演会

平谷美樹さん

イラスト入りでくわしく説明



サイン会も盛況でした



たくさんのご参加ありがとうございました

賀詞交歓会

ご夫婦での参加
ありがとうございます



乾杯は後教育長



野田村外館さん
ワイン紹介

